

第2項 積穴建物跡内貝塚出土地点（平成24年度Bトレンチ）

1. 調査概要

地表にヤマトシジミの貝殻の散布を確認したことから本地点を選択し、Bトレンチと呼称した。標高14~15mの北に向かう緩斜面地に東西20m×南北13mのT字形の試掘坑を設定して調査を実施した。調査面積は約150m²である。

2. 層位

本調査区周辺の基本土層は、下記のⅠ～Ⅶ層に大別される。

Ⅰ層：褐灰色～灰黄褐色土。耕作土および攪乱された土層。

Ⅱ層：にぶい黄褐色土または暗褐色土。ローム粒が混入し、炭化物が少量または中量含まれる。

Ⅲ層：暗褐色土。ローム粒が混入しており、炭化物が少量または中量含まれる。層相から人為的な廃棄層とみられ、盛土遺構（B-9号）を構成する堆積層と考えられる。

IV層：黒褐色土。焼土粒とローム粒の混入がみられ、Ⅲ層同様、盛土遺構（B-9号）を構成する堆積層である。旧表土となるVI層の直上に堆積していることから、盛土遺構の最下層に相当する土層であり、B-1号周辺では、上部貝層の下位に本層が入り込むため、建物内堆積土とも捉えられる。本層下部の層理面からは、円筒下層d₂式土器が個体の状態で出土している。

V層：にぶい黄褐色土。ローム粒が混入しており、炭化物が少量または中量含まれる。人為的な廃棄層で、盛土遺構（B-9号）を構成する堆積層と考えられる。B-1号の覆土内に検出された下部貝層の直上に堆積しており、IV層同様、建物内堆積土とも捉えられるが、盛土遺構の形成開始期の内容を示す土層とみられる。

VI層：黒褐色土。ローム粒が少量混じる。本層の上面付近にB-1号、B-7号の確認面があることから、縄文前期末葉以前の旧表土と考えられる。

VII層：明褐色土。VI層とVIII層の漸移層。

VIII層：橙色粘土。ローム層。

3. 遺構

確認された遺構は9基で、積穴建物跡5軒、溝跡1条、土坑1基、埋設土器1基、盛土遺構1カ所である（図12~14）。多くは、縄文時代前期中葉～中期中葉にかけての遺構であるが、B-3号（溝跡）は、堆積土の特徴から平安時代のものと考えられる。なお、B-1号（積穴建物跡）の堆積土から、後述のとおり前期中葉と中期初頭の2時期の貝層が検出された。

B-1号は積穴建物跡で、IV層に覆われ、VI層を掘り込んで構築されている。平面形はほぼ円形で直径は約5mに達する。

堆積土には、ヤマトシジミを主体とする貝層が間層を挟んで「上部貝層」と「下部貝層」の2層にわかれれる。上部貝層は、Ⅲ層直下・IV層上面に検出されており、円筒下層d₂式～円筒上層a式の土器片が伴う。一方、下部貝層は、IV層およびV層、4層の直下に検出されており、円筒下層b式の土器片が伴う。下部貝層については、約1リットル分の土壤サンプルの水洗選別を実施した結果、ヤマトシ

ジミ、フナ属、サケ科が検出されている（第4章第2節）。

7層から採取した炭化材の放射性炭素年代測定値は 5080 ± 30 yrBP (PLD-23830) であった。また貝層のヤマトシジミを試料とした測定結果は 5070 ± 30 yrBP (IAAA-121735) と 5010 ± 30 yrBP (IAAA-121736) であり、概ね前期中葉の年代値が得られている（第4章第2節）。堆積土下部から円筒下層b式土器が出土しており、本遺構の構築年代は、前期中葉以前と考えられる。

B-2号は、I層直下、VI層上面で検出した。口縁を掘方底面に設置した、逆位の埋設土器である。掘方の上端幅は1.04mで、検出面からの深さは16cmである。本遺構の構築年代は、土器型式から円筒下層d₂式期と考えられる。

B-3号は、I層直下、VI層上面で検出した。後世の削平により本来の掘り込み面は不明であるが、堆積土の特徴から古代の溝跡とみられる。本調査区内における主軸方位はN-69°-Eで、延長8.89m、上端幅約70cm、検出面からの深さは約16cmである。

B-4号は、I層直下、VI層上面で検出した。後世の削平により本来の掘り込み面は不明である。堆積土上部のI・2・3層から土器片が出土しており、縄文時代の竪穴建物跡と考えられる。

B-5号は、I層直下、VI層上面で検出した土坑である。後世の削平により本来の掘り込み面が失われており、構築時期は不明である。

B-6号は、I層直下、VI層上面で検出した竪穴建物跡である。後世の削平により本来の掘り込み面が失われており、構築時期は不明である。

B-7号は竪穴建物跡で、III②層およびIV層に覆われ、VI層を掘り込んで構築されている。出土遺物については、2層から円筒上層a式の土器片、ローム廃棄層（4層）の上面より、円筒下層d₂式の土器が個体の状態で出土している。壁は床面から緩やかに立ち上がり、床は硬化面が発達している。

B-8号と重複しており、これよりも新しい。遺構の構築年代は、堆積土から出土した遺物の内容から円筒下層d₂式期と考えられる。

B-8号は竪穴建物跡で、B-7号の堆積土6・7層直下で検出した。B-7号と重複しており、円筒下層d₂式以前に構築されたものと考えられる。

B-9号はI層直下で検出された盛土遺構である。B-1号およびB-7号と重複しており、これらよりも新しい。BC-2・3グリッドのII・III・IV・V層が本遺構を構成する土層である。炭化物層とロームの二次廃棄層が互層をなして堆積しており、BC-3グリッドの北東側には堆積層の端部が縮状に検出されている。土層断面に現れた堆積層端部の層序の推移をみると、廃棄の起点が北側に移動していく様子がうかがえる。

最下部のIV層から円筒下層d₂式～円筒上層a式期の土器が復元可能な状態で多く出土している。また、BC-3グリッドの北東寄りには円筒上層d₂式期の土器が倒立状態で出土していることから、前期末葉から中期中葉まで土層の堆積が継続していた可能性も考えられる。

炭化物層（III層）で採取した土壤に含まれる植物遺体を分析した結果、クリとオニグルミが同定された。また、炭化材には、コナラ節、クリ、サクラ属などの樹種が含まれていることが確認された（第4章第2節）。

4. 遺物

図15～17はBトレンチから出土した土器である。

大半が縄文時代前期末から中期初頭（円筒下層d₁式～円筒上層a式）で、そのほかに前期中葉（円筒下層b式）、中期中葉（円筒上層e式）もわずかにある。BC-2・3グリッドで遺物のまとまりと貝層を確認した。

1～7は遺構内出土土器である。このうち、1～5はB-1号（竪穴建物跡）から出土したものである。1・2・5は中期初頭の円筒上層a式、3・4は中期中葉の円筒上層e式土器である。6はB-2号の埋設土器で、円筒下層d₁式と考えられる。口縁部には横位と大ぶりな三角形状に縄文が押圧され、口唇部上端にも及ぶ。7はB-3号（溝跡）から出土した中期の大木系の土器である。

8～29はグリッド単位で取り上げたもので、これらもB-1号（竪穴建物跡）から出土したもののがほとんどで、そのほかに本遺構の堆積土と関連して形成された盛土遺構とみられる堆積層から出土したものも含まれる。

土器はBC-2・3グリッドとも前期末葉の円筒下層d₂式から中期初頭の上層a式土器が主体である。BC-3グリッドではそれ以前、以後の型式である円筒下層b式土器（18：前期中葉）や円筒上層d式土器（22：中期中葉）も出土している。B-1号からは上下2層の貝層が検出されており、伴出遺物の取り上げは一部のみ行ったが、上層からは円筒下層d₂式から円筒上層a式土器が、下層から円筒下層b式土器が出土した。貝層はおむね伴出土器の時期のものと考えられる。

なお、耕作土中からは平安時代の土器（26：擦文土器？）も出土した。

図16はBトレンチから出土した石器・石製品である。B-1号からは、石鐵・磨石等が出土した。1は端部や側縁部に敲打痕の集中する磨石であり、折損後に折面からの連続剥離が加えられる。Bトレンチの遺構外からは、磨石や軽石製の石製品等が出土した。

表4 Bトレンチ遺構一覧表

No	遺構番号	種別	年代
1	B-1号	竪穴建物跡	縄文前期中葉以前
2	B-2号	埋設土器	縄文前期末葉
3	B-3号	溝跡	平安時代
4	B-4号	竪穴建物跡	縄文時代
5	B-5号	土坑	縄文時代
6	B-6号	竪穴建物跡	縄文時代
7	B-7号	竪穴建物跡	縄文前期末葉
8	B-8号	竪穴建物跡	縄文前期末葉以前
9	B-9号	盛土遺構	縄文前期末葉～中期中葉

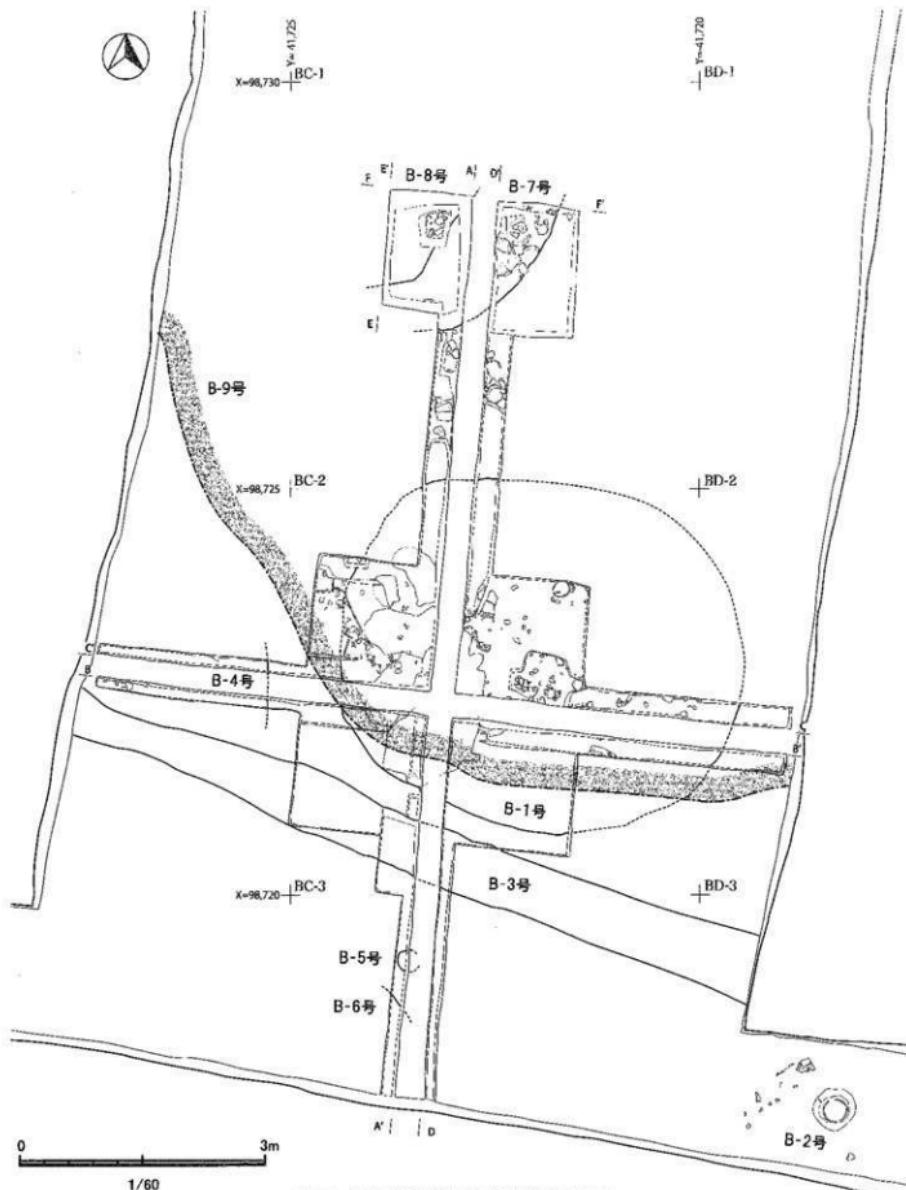


图12 整穴建筑物跡内貝塚出土地点平面図

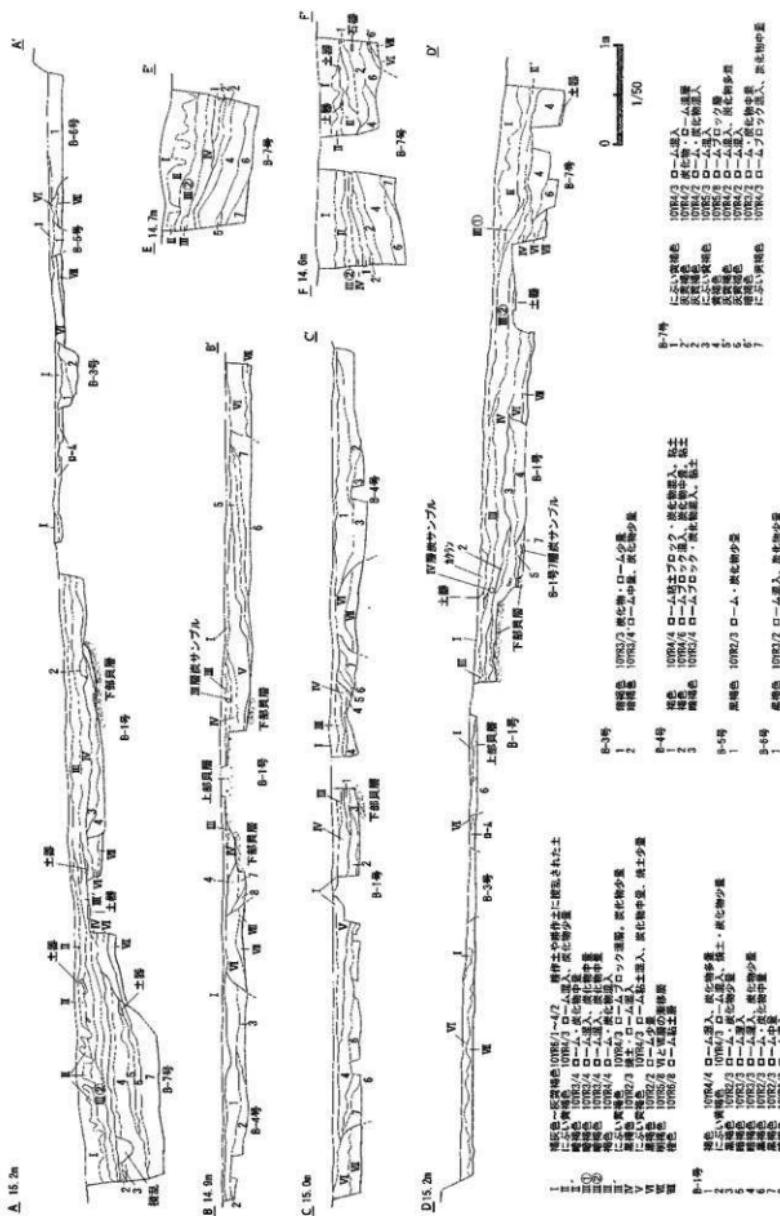


図13 壕穴発掘内実測出土地点セクション図

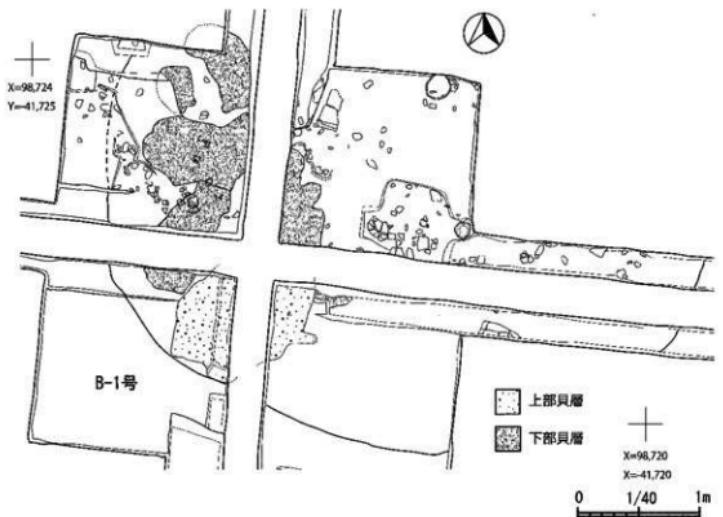
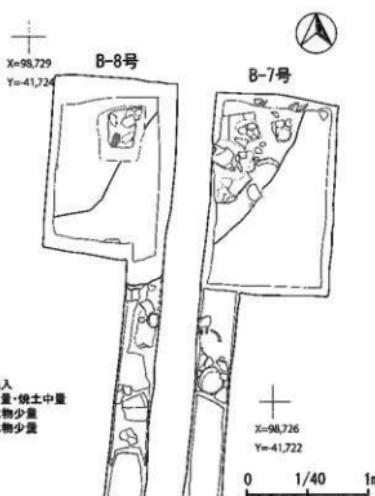
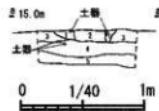
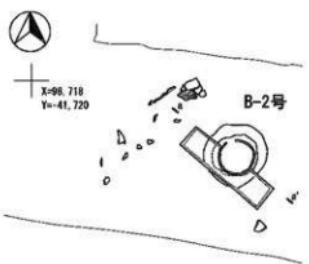


図14 B-1・2・7・8号遺物出土状況

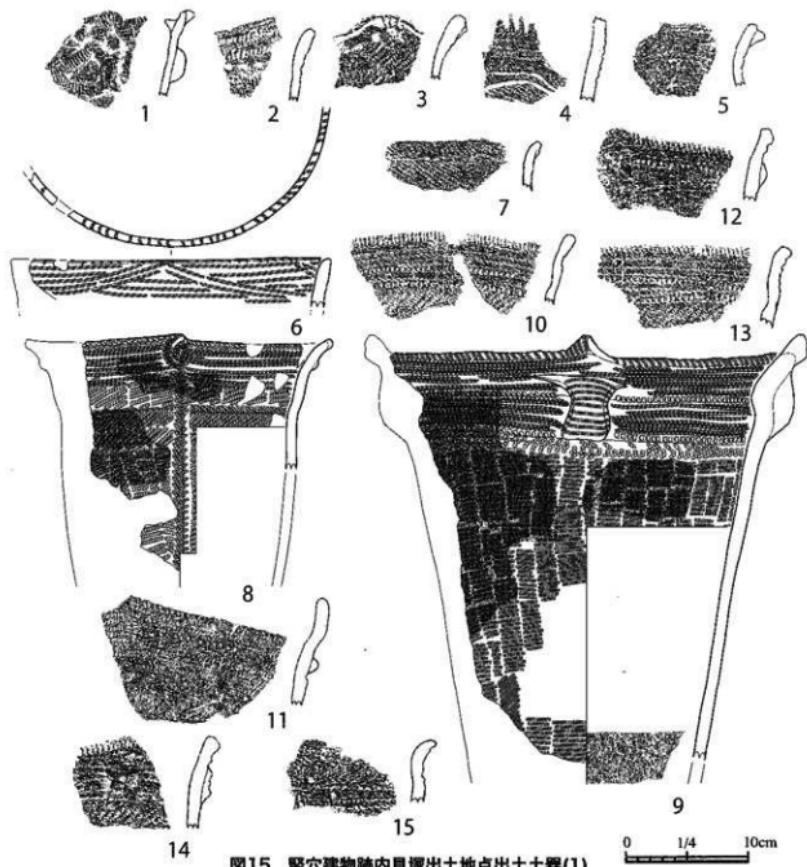


図15 積穴建物跡内貝塚地点出土土器(1)

表5 積穴建物跡内貝塚地点出土土器観察表(1)

番号	種別	器形	部位・形状	出土位置	出土層位	年代	型式・石材	備考
1	縄文土器	深鉢	口縁	B-1号dブロック	上層	縄文中期	円筒上層a	
2	縄文土器	深鉢	口縁	B-1号eブロック南北側	上層下位	縄文中期	円筒上層a	
3	縄文土器	深鉢	口縁	B-1号e～fブロック南北側	黒褐色層	縄文中期	円筒上層e	
4	縄文土器	深鉢	口縁	B-1号eブロック南北側	耕作土	縄文中期中葉	円筒上層e	
5	縄文土器	深鉢	口縁	B-1号d区	ローム混層	縄文中期	円筒上層a	
6	縄文土器	深鉢	口縁	B-2号	—	縄文前期末	円筒下層d1	
7	縄文土器	深鉢	口縁	B-3号	上層(b区)	縄文前期末	大木系	
8	縄文土器	深鉢	口縁～胴部	BC-2グリッド	—	縄文前期末	円筒下層d2	
9	縄文土器	深鉢	口縁～胴部	BC-2グリッド	IV層	縄文中期初頭	円筒上層a	
10	縄文土器	深鉢	口縁	塗土(BC-2グリッド西)	ローム塗土上層	縄文中期初頭	円筒上層a	
11	縄文土器	深鉢	口縁	BC-2グリッド	III'層	縄文中期初頭	円筒上層a	
12	縄文土器	深鉢	口縁	BC-2グリッド	—	縄文中期初	円筒上層a	
13	縄文土器	深鉢	口縁	BC-2グリッド	—	縄文中期初	円筒上層a	
14	縄文土器	深鉢	口縁	塗土(BC-2グリッド西)	ローム塗土上層	縄文中期初頭	円筒上層a	
15	縄文土器	深鉢	口縁	BC-2グリッド	—	縄文前期	円筒下層d?	

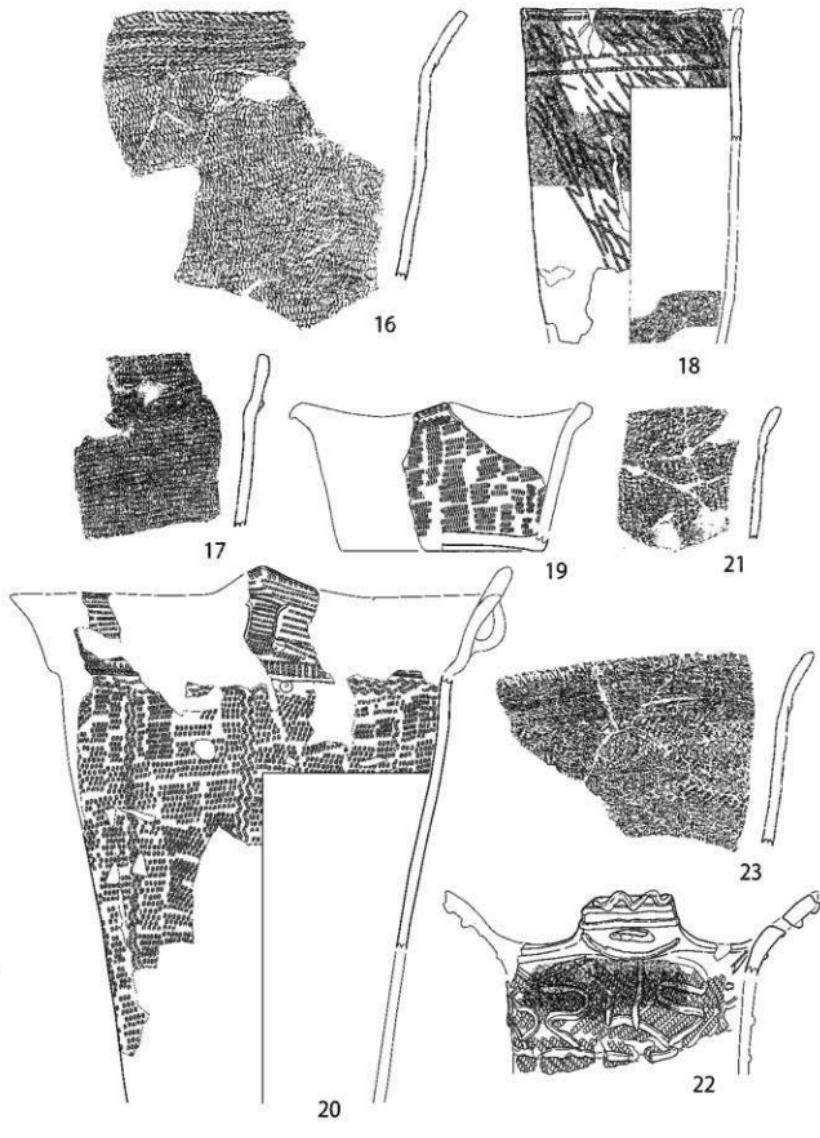


図16 積穴建物跡内貝塚出土地点出土土器(2)

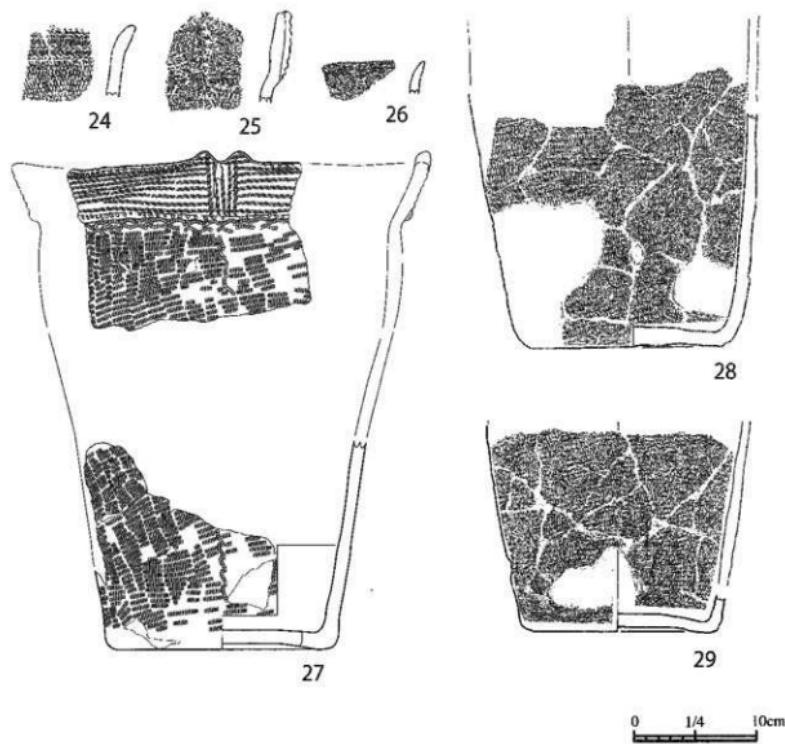


図17 壁穴建物跡内貝塚出土地点出土土器(3)

表6 壁穴建物跡内貝塚出土地点出土土器観察表(2)

番号	種別	器形	部位・形状	出土位置	出土層位	年代	型式・石材	備考
16	縄文土器	深鉢	口縁	BC-2グリッド	—	縄文中期初頭	円筒上層a	
17	縄文土器	深鉢	口縁	BC-2グリッド	IV層	縄文中期初頭	円筒上層a	
18	縄文土器	深鉢	口縁～胴部	BC-3グリッド	—	縄文中期中葉	円筒下層b	
19	縄文土器	皿形	口縁～底部	BC-3グリッド	—	縄文中期初頭?	円筒上層a?	
20	縄文土器	深鉢	口縁～胴部	BC-3グリッド	III層	縄文中期初	円筒上層a	
21	縄文土器	深鉢	口縁	BC-3グリッド	—	縄文前期中葉	円筒下層a-b	
22	縄文土器	深鉢	口縁	BC-3グリッド	—	縄文中期中葉	円筒上層d	
23	縄文土器	深鉢	口縁	BC-3グリッド	—	縄文前期末	円筒下層d2	
24	縄文土器	深鉢	口縁	BC-3グリッド	IV層	縄文中期初頭	円筒上層a	
25	縄文土器	深鉢	口縁	BC-3グリッド	—	縄文中期初頭	円筒上層a	
26	土器	深鉢	口縁	BC-3グリッド	耕作土底層(B-1号柱)	平安	擦文?	
27	縄文土器	深鉢	胴部～底部	BC-2グリッド	—	縄文中期初頭	円筒上層a	
28	縄文土器	深鉢	胴部～底部	BC-2グリッド	—	縄文中期初頭	円筒上層a	
29	縄文土器	深鉢	胴部～底部	BC-3グリッド	IV層	縄文中期初頭	円筒上層a	

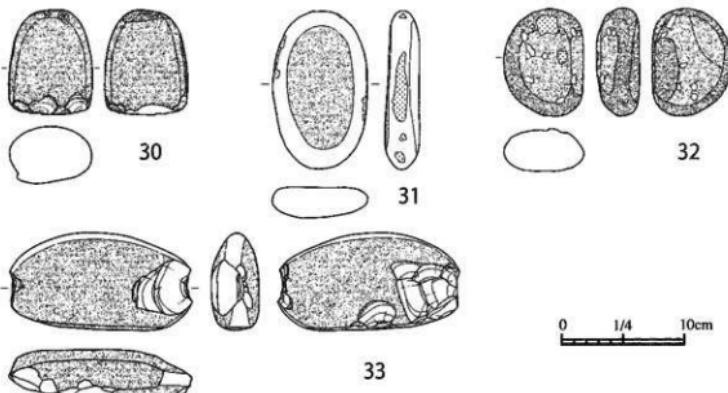


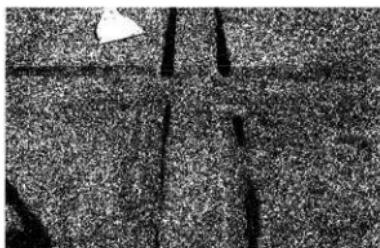
図18 壇穴建物跡内貝塚出土地点出土石器

表7 壇穴建物跡内貝塚出土地点出土石器観察表

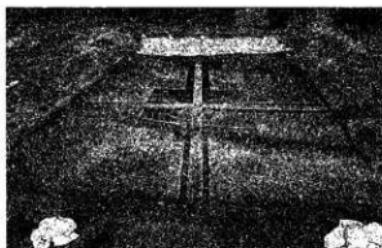
番号	種別	器形	部位・形状	出土位置	出土層位	年代	型式・石材	備考
30	石器	磨・敲石	—	B-1号dブロック	暗褐色層	縄文	安山岩	
31	石器	磨・敲石	—	B-1号c区	1層	縄文	安山岩	
32	石製品	輕石製品	—	BC-3グリッド	—	縄文	輕石 被熱赤変	
33	石器	磨石	—	BC-2グリッド	—	縄文	安山岩	



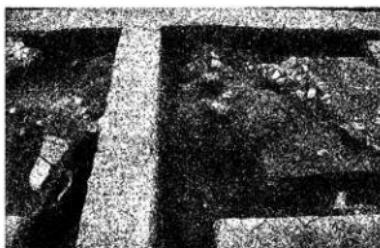
B トレンチ調査地点(南西から)



B トレンチ 1号上部貝層(南から)

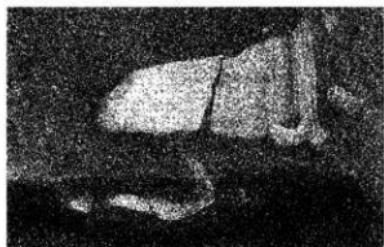


B トレンチ全景(南から)



B トレンチ 1号内下部貝層(北から)

写真5 壇穴建物跡内貝塚出土地点調査状況①



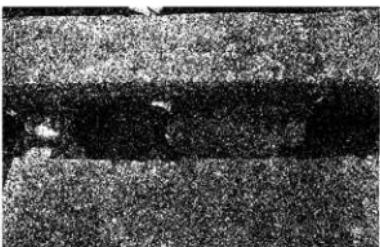
Bトレンチ1号出土土器(西から)



Bトレンチ1号出土土器(北東から)



Bトレンチ盛土遺構(北から)



Bトレンチ盛土遺構出土土器(東から)



Bトレンチ盛土遺構出土土器(北西から)



Bトレンチ2号(南西から)



Bトレンチ盛土遺構・7号土層断面(東から)



Bトレンチ盛土遺構・8号土層断面(南東から)

写真6 穹穴建物跡内貝塚出土地点調査状況②

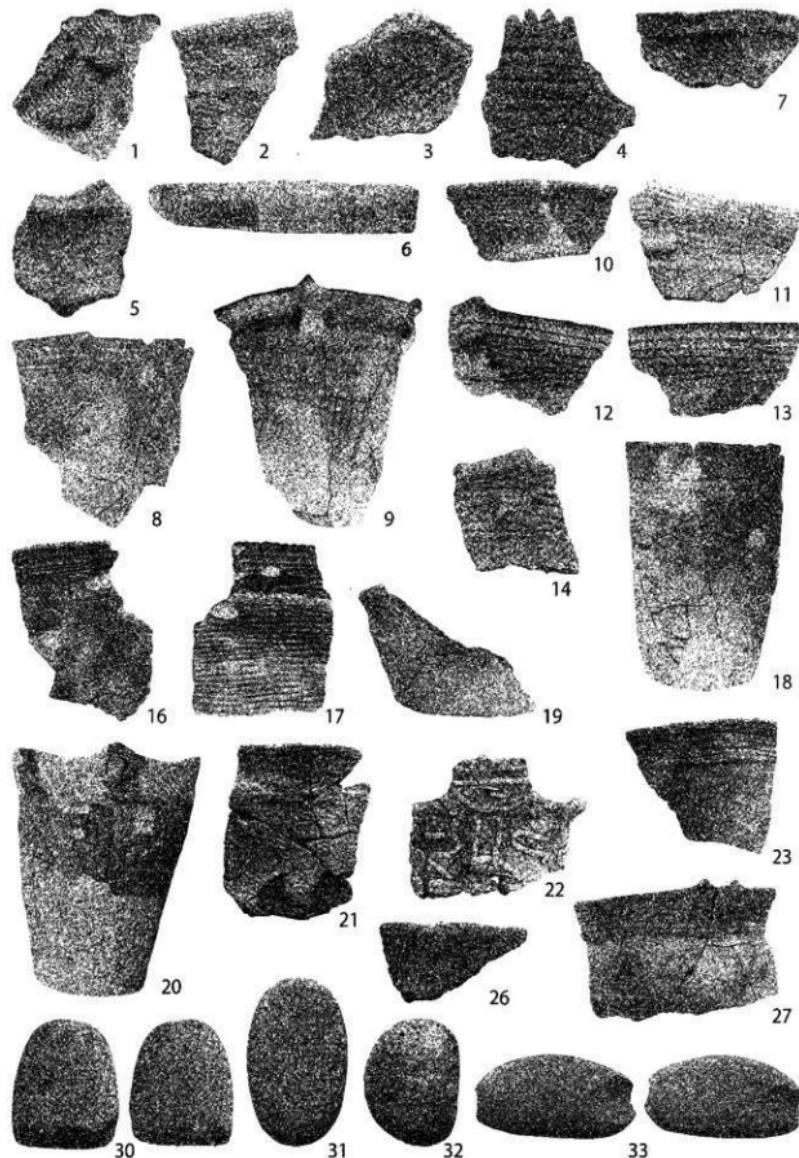


写真7 穹穴建物跡内貝塚出土地点出土遺物

第3項 史跡西半の調査（平成25年度）

1. 概要

史跡の西半における地下の遺跡の状況を把握するため、標高12～15mほどの畠地に、14ヶ所の試掘坑（T-1～T-14トレンチ）を設定した。調査面積は計266m²である。T-1～T-6トレンチ、T-9・T-12～T-14トレンチ、T-7・8・11・19トレンチは、任意の間隔でそれぞれ東西軸上に設定し、その範囲は史跡中央部から西端部に達する。発見された遺構・遺物の時期は、縄文前期中葉～中期末葉期にかけてのものが中心であり、史跡西端部のT-6トレンチでは、VI・VII層で貝の破片が少量混入する。その他、平安時代の遺構も確認された。地形的に、史跡西半部は北側から南側に緩やかに傾斜する。T-3・7・10トレンチではIV層あるいはV層からVII層が欠失しており、現地表面から15～20cmほどで地山面に達する。

2. 層序

- I層：褐灰色土。耕作土（現耕作土）。
- II層：褐灰色土。耕作土（耕作土下層）。
- III層：暗褐色土。耕作土。
- IV層：暗褐色土。III層土混入。
- V層：暗褐色土。炭化物少量。
- VI層：黒褐色土。ローム混入、炭化物少量。中期中葉の円筒上層d式出土。
- VI-VII層：褐色土。ローム混入、炭化物少量。
- VII層：黒褐色土。ローム・炭化物少量。
- VIII層：橙色土。漸移層。
- IX層：橙色土。ローム粘土。地山。

3. 遺構

T-1～T-14トレンチで総数241基の遺構を検出した。遺構確認にとどめたものが大半のため、遺構の種別・年代の判定はごく一部についてしか行っていないが、出土遺物等からT-1・2・14トレンチ検出遺構は縄文前期、T-5トレンチ検出遺構は縄文中期を中心とした年代が推定される。最も遺構が集中するのは史跡西端部のT-14トレンチで、計120基を数える。そのほとんどはピットであるが、長径2.5mと1.5mの2基のフラスコ状土坑（3・6号）を含む長径3～4mほどの大型土坑群を検出した。出土遺物から、土坑群の年代は縄文前期中葉～末葉と考えられる。ピット群はこの大型土坑群の周辺部に密集する。T-11トレンチでは計24基の遺構を検出した。土坑とピットが主体だが、トレンチ西端部では、V層下で焼土ブロックが確認された。

T-3トレンチとT-13トレンチでは平安時代の堅穴建物跡（T-3トレンチ1号、T-13トレンチ5号・8号）や溝跡（T-3トレンチ5号）を検出しており、堆積土の状況から周辺の土坑も平安時代のものと推定される。

4. 遺物

図25~27では史跡西半の調査で出土した土器をトレンチごとに示した。

1・2はT-5トレンチ出土土器である。中期末葉の土器の口縁部片である。口唇部外面にわずかに無文帯があり、以下は地文のみである。

3~22はT-8トレンチ出土土器である。円筒下層a・b式（前期中葉）と桜林式～大木10式併行期（中期後～末葉）のものが主体である。前期中葉の土器は復元個体を含む。3・7・8は口縁部に結節回転文、4・5・9は絡条体回転文が施文される。5の頸部には上下に浅く沈線状に巡らせ、その間を隆帶状としている。6・10は円筒上層式土器である。6は口縁部文様帶に横位の縄文原体押圧と刺突を巡らせた中期初頭の円筒上層a式土器、10は口縁部文様帶に粘土紐を貼り付け、その間に刺突を充填した中期中葉の円筒上層c式土器片である。11~13、19は中期後～末葉の地文のみの土器片である。11の口唇は凹状に沈線が巡る。14~16・18は中期末葉の口縁部片である。15は器面全面に縄文を施した後沈線で文様を描き、14・16・18は沈線で区画した内部に縄文を施している。

23~33はT-9トレンチから出土した土器片である。23は上半部が復元できた中期中葉の円筒上層e式土器である。24には地文施文後に隆帶が、25・26は地文施文後に細い沈線が加わる。27・28は山形突起がつく中期中葉の土器である。27~31は地文のみの土器である。32は無文帯下に縄文が施された後、沈線文が施された中期末葉の土器片である。

34・35はT-11トレンチ、36はT-13トレンチから出土した土器で、35・36は大洞B式土器である。

37~42はT-14トレンチから出土した口縁部の土器片である。口縁部文様帶には横位などに縄文原体が押圧された円筒下層d式土器である。

図28・29は史跡西半の調査地で出土した石器・石製品である。

43はT-2トレンチから出土した断面三角形状の石製品である。44~46はT-5トレンチ出土石器・石製品である。45は扁平状の石英質流紋岩であり、明瞭な加工痕は認められない。46は磨石であり、方形の珪化木の両面に広範囲に磨面が認められる。47~53はT-8トレンチから出土した石器・石製品であり、そのほか半円状扁平打製石器や磨製石斧等も出土している。51は端部に敲打痕のある大型の磨・敲石で、表裏面の広範囲に付着物が認められる。50は有孔石製品に分類したが、孔は意図的な穿孔によるものではなく、石材内の夾雜物の脱落箇所を利用したものである。54はT-9トレンチから出土した台石であり、両面全体に磨面が認められる。55・56はT-11トレンチから出土した石器である。55の磨製石斧は基部側を欠損し、被熱痕と黒色付着物が認められる。57~59はT-14トレンチから出土した石器である。57は7号、58は12号、59は13号遺構から出土した。

	トレンチ	遺構番号	種別	年代	B	トレンチ	遺構番号	種別	年代	C	トレンチ	遺構番号	種別	年代
1		1号	ビット	縄文初期	20		1号	土坑？	縄文中期	28		1号	土坑	平安？
2	T-1	2号	ビット	縄文初期	21	T-7	2号	土坑	縄文	29	T-8	5号	縄文	平安
3		3号	ビット	縄文初期	22		3号	土坑	縄文	30	T-13	6号	縄文	平安
4		4号	ビット	縄文初期	23		4号	土坑？	縄文	41		7号	土坑	平安？
5		5号	ビット	縄文初期	24	T-8	1号	土坑？	縄文	42		8号	土坑	平安？
6	T-2	4号	ビット	縄文初期	25		2号	土坑	縄文	43		9号	土坑	平安
7		1号	土坑	平安	26		1号	土坑	縄文中期	44		3号	ラスコ状土坑	縄文前中期～末葉
8		2号	土坑	平安	27	T-9	3号	ビット	縄文前中期	45	4号	土坑	縄文前中期～末葉	
9	T-3	3号	土坑？	平安？	28		4号	ビット	縄文	46	5号	土坑	縄文前中期～末葉	
10		4号	土坑？	平安？	29	T-10	1号	土坑	縄文中期	47	T-14	6号	ラスコ状土坑	縄文前中期～末葉
11		5号	溝跡	平安	30		4号	ビット	縄文	48		7号	土坑	縄文前中期～末葉
12		3号	土坑？	平安？	31	T-11	13号	ビット	縄文	49		10号	土坑	縄文前中期～末葉
13	T-4	6号	第六建物跡？	平安？	32		18号	ビット	縄文	50		14号	土坑	縄文前中期～末葉
14		1号	土坑	縄文	33		3号	土坑	縄文	51		15号	土坑	縄文前中期～末葉
15		2号	土坑	縄文中期	34		4号	土坑	縄文					
16	T-5	3号	ビット	縄文中期	35	T-12	8号	土坑	縄文					
17		4号	土坑	縄文中期	36		9号	土坑	縄文					
18		5号	土坑	縄文中期	37		14号	土坑	縄文					
19	T-6	1号	土坑？	縄文										

表8 史跡西半遺構一覧表

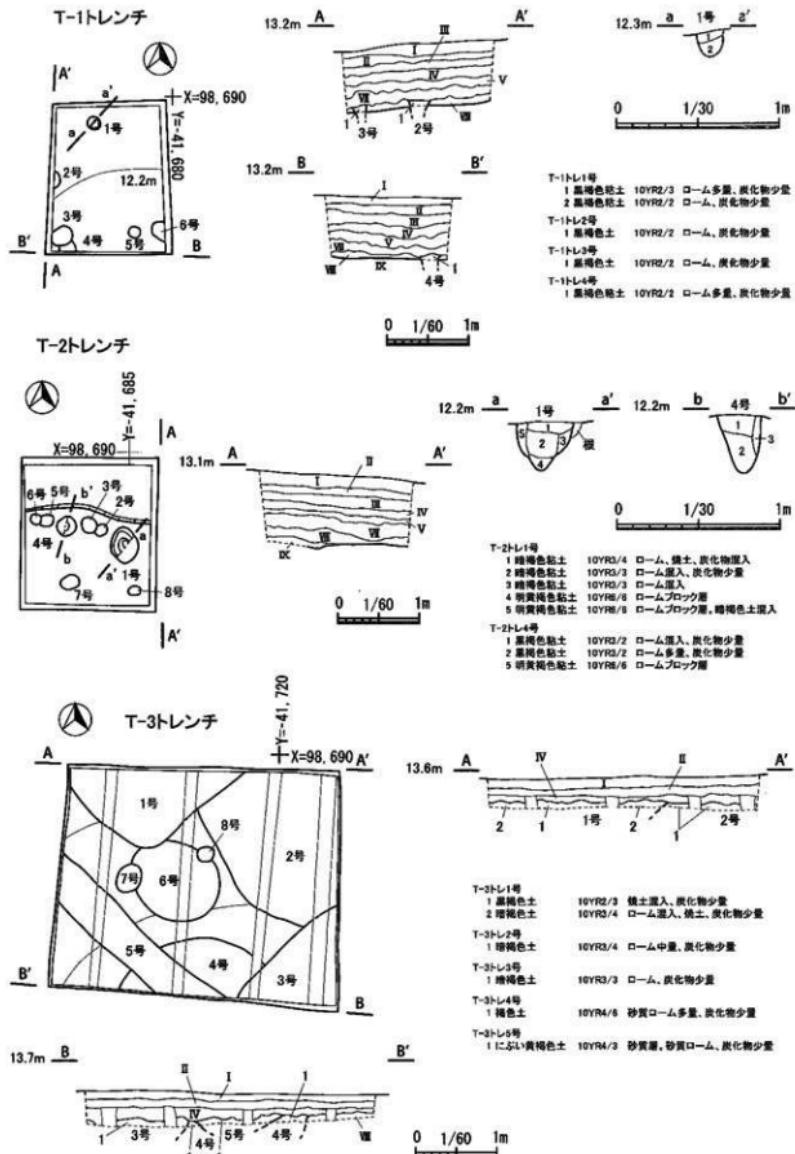


図19 史跡西半調査地点 (T-1~3トレーニチ) 平面図・セクション図

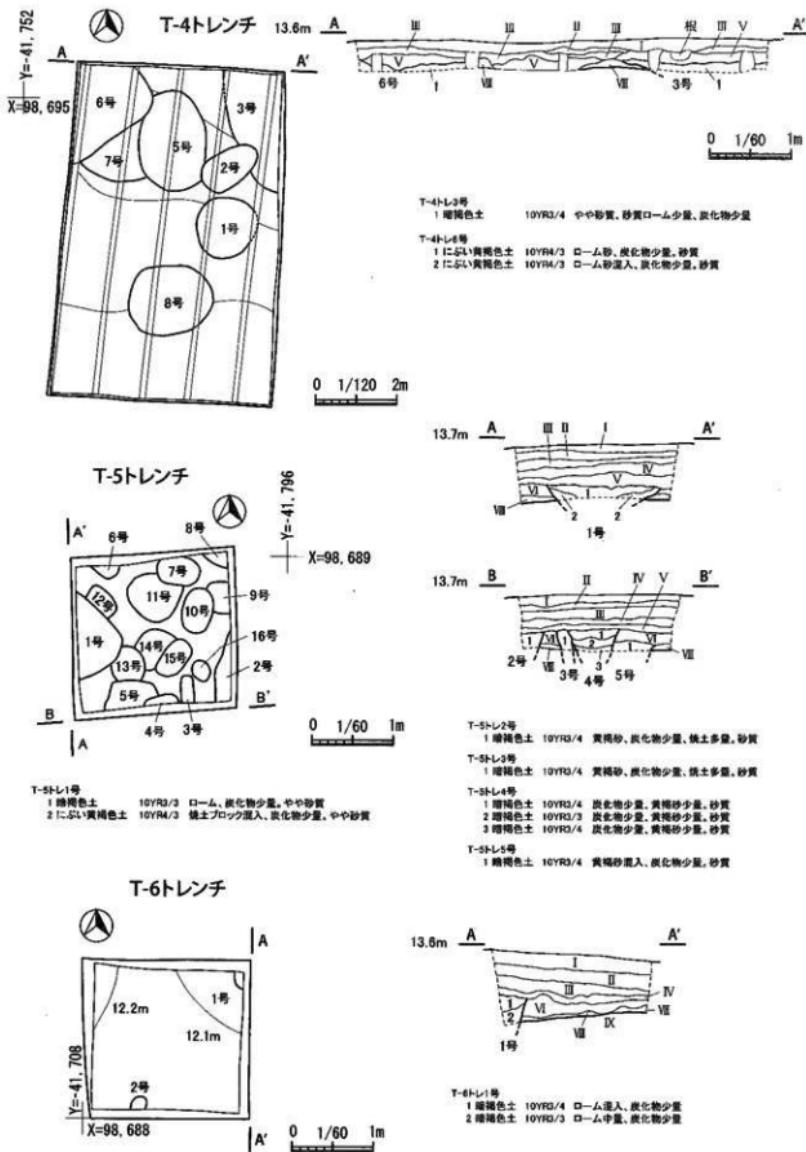


図20 史跡西半調査地点 (T-4~6トレーニチ) 平面図・セクション図

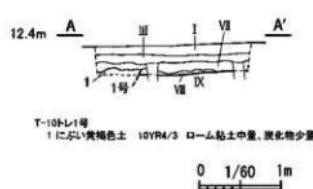
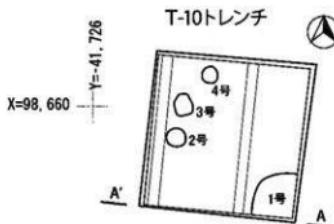
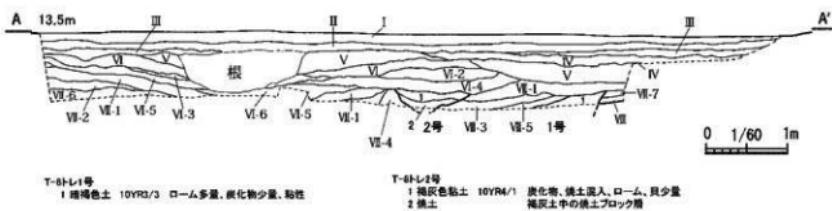
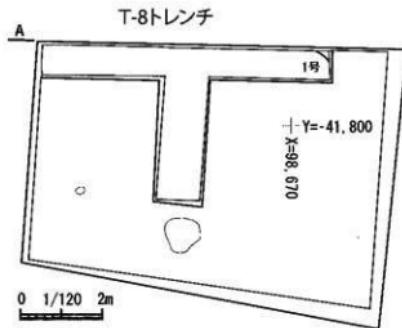
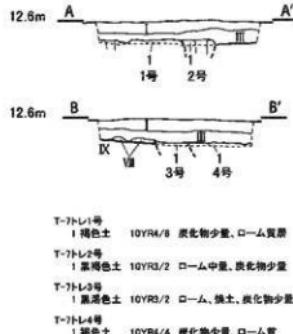
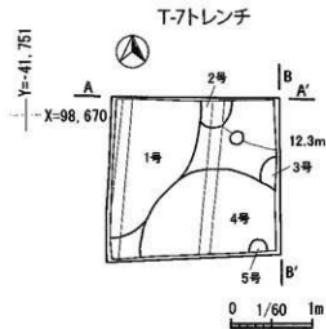


図21 史跡西半調査地点（T-7・8・10トレンチ）平面図・セクション図

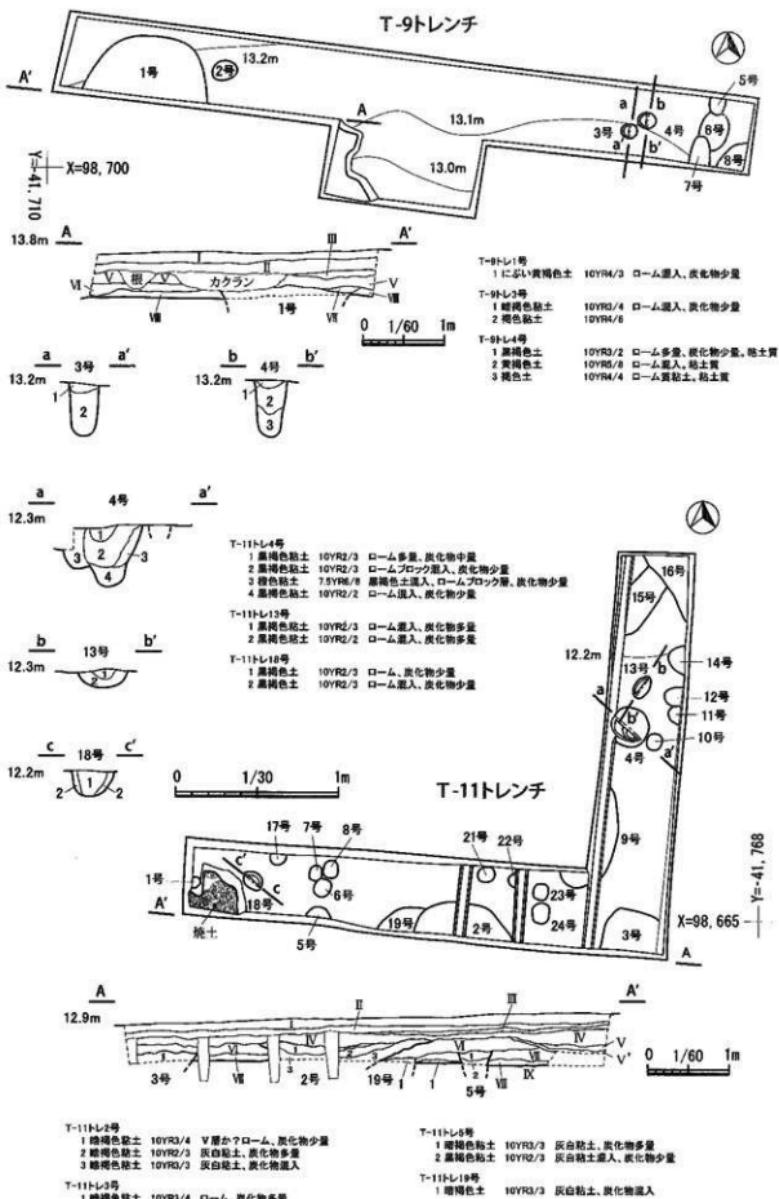


図22 史跡西半調査地点 (T-9・11トレーニチ) 平面図・セクション図

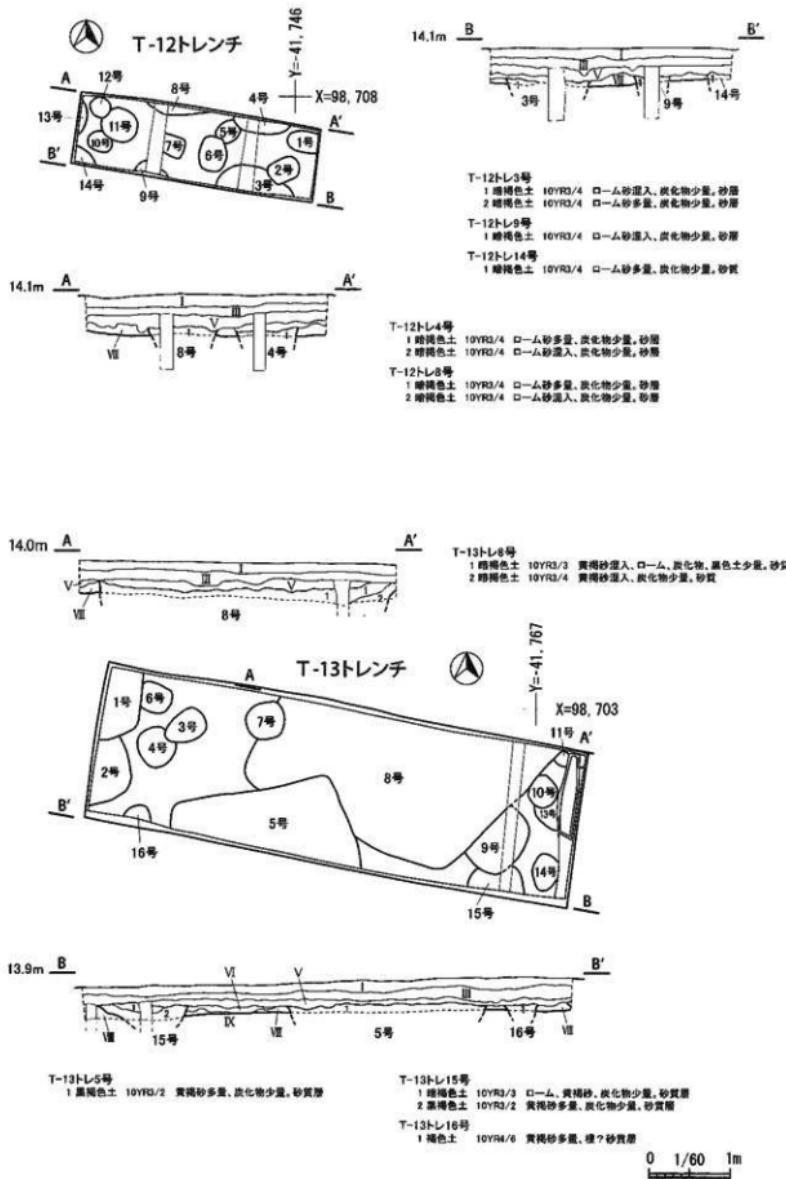
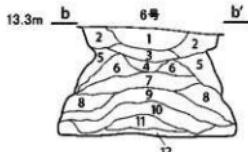


図23 史跡西半調査地点 (T-12・13トレーニチ) 平面図・セクション図



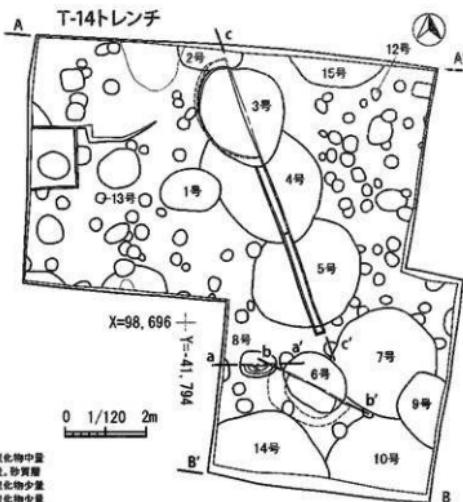
T-14トレ8号

- 1 黄褐色土 10YR2/3 黄褐色少量、炭化物中量、砂質層
- 2 黑褐色土 10YR3/2 黄褐色中量、炭化物少量、砂質層
- 3 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色中量、炭化物少量、砂質層
- 4 喀褐色土 10YR3/3 黄褐色少量、炭化物少量、砂質層



T-14トレ8号

- 1 にぶい黄褐色土 10YR5/4 ローム粘土ブロック層、炭化物中量
- 2 深黄褐色土 10YR4/2 黄褐色少量、炭化物少量、砂質層
- 3 にぶい黄褐色土 10YR5/3 ローム粘土ブロック層、炭化物少量
- 4 にぶい黄褐色土 10YR4/3 地山、黄褐色ブロック、溶岩層
- 5 黄褐色土 10YR7/4 ローム粘土ブロック層、炭化物少量
- 6 にぶい黄褐色土 10YR4/3 ローム粘土ブロック層、炭化物少量
- 7 深黄褐色土 10YR4/2 ローム粘土ブロック混入、炭化物少量
- 8 明黄褐色土 10YR6/6 ローム粘土ブロック層、黄褐色少量、炭化物中量
- 9 黑褐色土 10YR3/2 ローム粘土ブロック層、黄褐色少量、炭化物混入
- 10 明黄褐色土 10YR6/6 ローム粘土ブロック層、黄褐色多量、炭化物少量
- 11 明黄褐色土 10YR8/5 ローム粘土ブロック層、炭化物少量
- 12 にぶい黄褐色土 10YR5/4 黄褐色少量、ローム粘土多量、炭化物中量

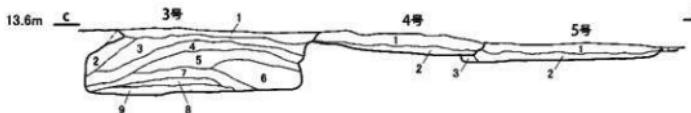


T-14トレ4号

- 1 黄褐色土 10YR3/4 ローム粘土混層、炭化物多量
- 2 黑褐色土 10YR3/3 ローム少量、砂質層

T-14トレ5号

- 1 黄色土 7.5YR4/6 ローム粘土混層、炭化物多量
- 2 黄色土 10YR4/6 ローム少量、炭化物少量、砂質層
- 3 喀褐色土 10YR3/4 ローム少量、炭化物少量、砂質層



T-14トレ3号

- 1 黄褐色土 10YR3/4 ローム粘土混入、炭化物多量、粘土質
- 2 喀褐色土 10YR2/3 黄褐色少量ブロック混入、炭化物少量、砂質層
- 3 黄褐色土 10YR4/6 ローム混入、炭化物多量、粘土質
- 4 黑褐色土 10YR2/3 ローム混入、炭化物多量、粘土質
- 5 黑褐色土 10YR2/3 ローム混入、炭化物多量、粘土質
- 6 にぶい黄褐色土 10YR4/3 ローム混入、炭化物少量、粘土質
- 7 黄褐色土 10YR4/3 ローム混入、炭化物多量、粘土質
- 8 黄褐色土 10YR4/5 ローム混入、炭化物多量、粘土質
- 9 黑褐色土 10YR3/2 ローム混入、炭化物多量、粘土質

T-14トレ2号

- 1 喀褐色土 10YR3/4 黄褐色少量、炭化物少量、砂質層

T-14トレ15号

- 1 黄褐色土 10YR3/4 黄褐色少量混入、炭化物少量、砂質層

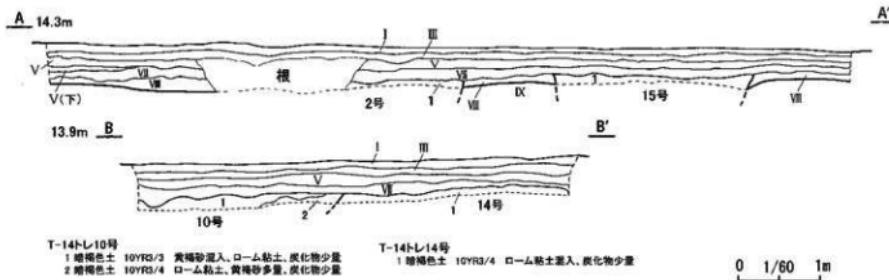


図24 史跡西半調査地点 (T-14トレチ) 平面図・セクション図

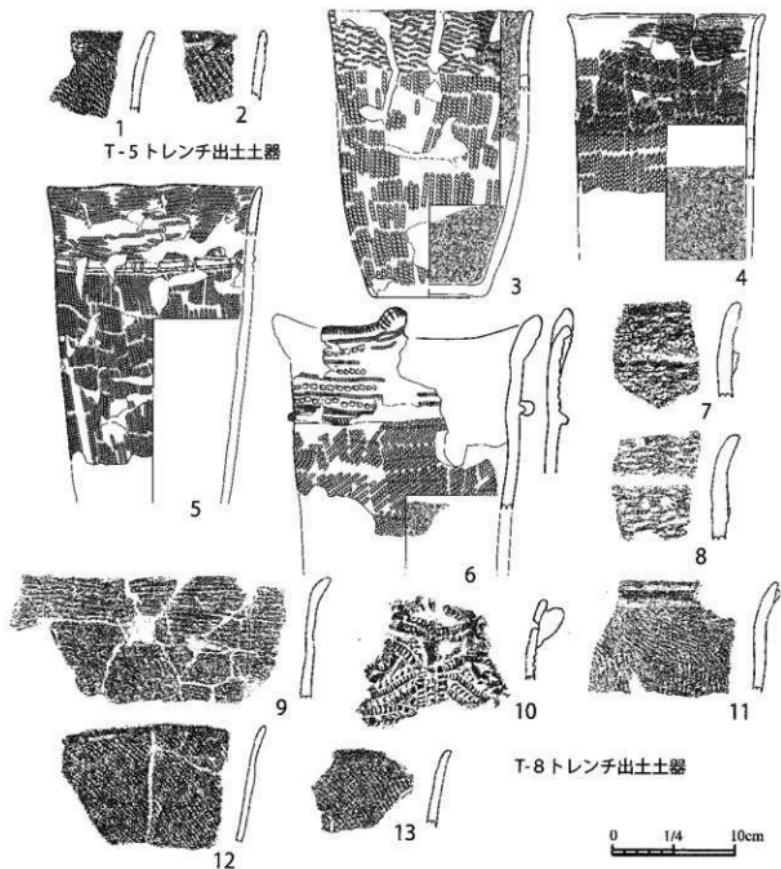


図25 史跡西半の調査出土土器(1)

表9 史跡西半の調査出土土器観察表(1)

番号	種別	器形	部位・形状	出土位置	出土層位	年代	型式・石材	備考
1	縄文土器	深鉢	口縁	T-5	褐色層	縄文中期末葉		
2	縄文土器	深鉢	口縁	T-5	褐色層	縄文中期末葉		
3	縄文土器	深鉢	口縁から底部	T-8	—	縄文前期	円筒下層aかb	
4	縄文土器	深鉢	口縁から腹部	T-8	—	縄文前期	円筒下層aかb	
5	縄文土器	深鉢	口縁から腹部	T-8	(褐)ローム下層褐色下層	縄文前期	円筒下層a～b	
6	縄文土器	深鉢	口縁から腹部	T-8(強)	褐色層	縄文中期	円筒上層a	
7	縄文土器	深鉢	口縁	T-8	(褐)ローム下層褐色下層	縄文前期	円筒下層a～b	
8	縄文土器	深鉢	口縁	T-8(東括)	ローム混層下層褐色層	縄文前期	円筒下層a～b	
9	縄文土器	深鉢	口縁	T-8	—	縄文前期	円筒下層a～b	
10	縄文土器	深鉢	口縁	T-8	明褐色層	縄文中期	円筒上層c	
11	縄文土器	深鉢	口縁	T-8(盐堀)	褐色層	縄文中期後葉	櫻林	
12	縄文土器	深鉢	口縁	T-8	上層褐色層	縄文中期後葉	中期後葉	
13	縄文土器	深鉢	口縁	T-8	ローム下層褐色下層2層目	縄文中期後葉		

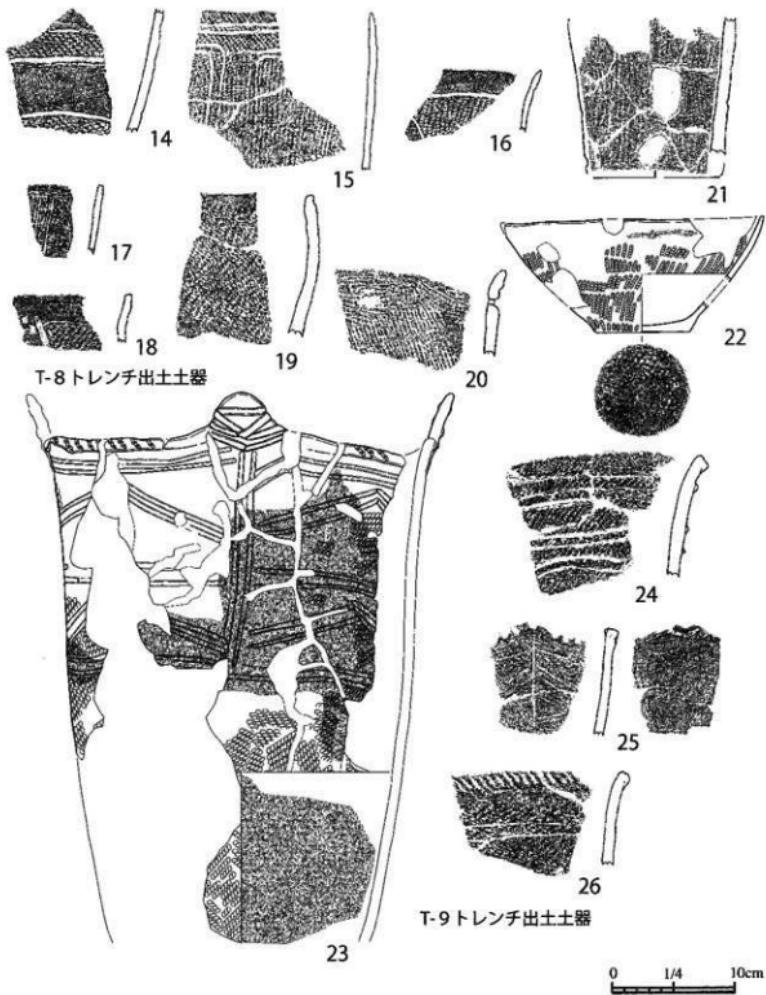


図26 史跡西半の調査出土土器（2）

表10 史跡西半の調査出土土器観察表(2)

番号	種別	器形	部位・形状	出土位置	出土層位	年代	型式・石材	備考
14	縄文土器	深鉢	胴部	T-8	炭化物層	縄文中期後葉一末葉		漆付着？
15	縄文土器	深鉢	口縁	T-8(東塗)	炭化物層	縄文中期	疊花	
16	縄文土器	深鉢	口縁	T-8(北塗)	ローム層(骨入)	縄文中期	疊花	
17	縄文土器	深鉢	口縁	T-8(東塗)	明褐色層(下層)	縄文中期末葉		
18	縄文土器	深鉢	口縁	T-8(北塗)	北住層？上層褐色層	縄文中期末葉？		
19	縄文土器	深鉢	口縁	T-8(北塗)	暗褐色層(下層)	中期後葉	桜林	
20	縄文土器	深鉢	口縁	T-8	—	縄文前期	円筒下層a-c	
21	縄文土器	深鉢	胴部	T-8	(南)ローム下層褐色層	縄文前期	円筒下層a-c	

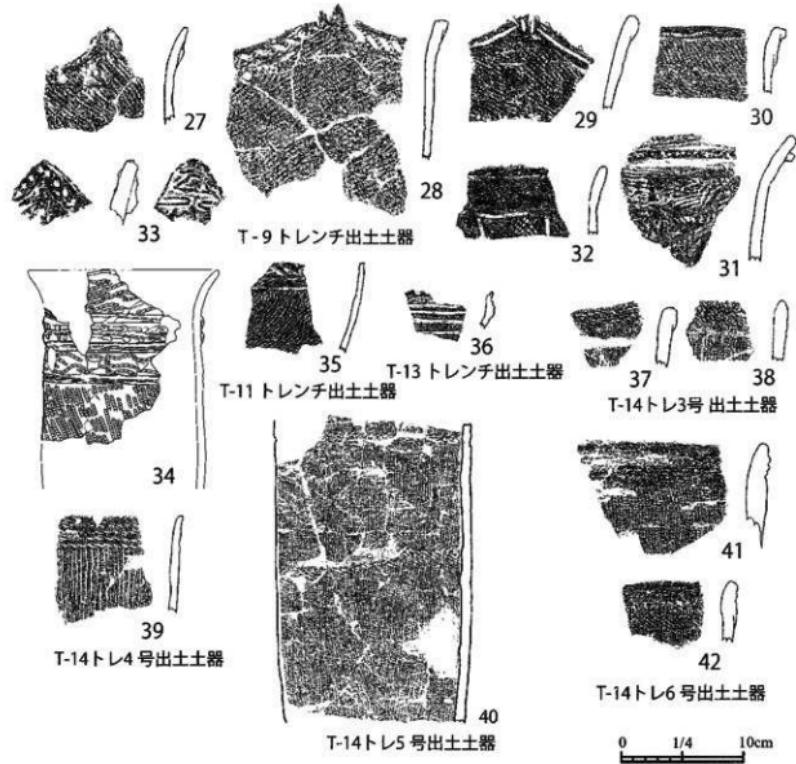


図27 史跡西半の調査出土土器(3)

表11 史跡西半の調査出土土器観察表(3)

番号	種別	器形	部位・形状	出土位置	出土層位	年代	型式・石材	備考
22	縄文土器	深鉢	口縁～底部	T-9(北舷)	暗褐色層(下層)	縄文中期後葉		
23	縄文土器	深鉢	口縁～底部	T-9	V1～V2層	縄文中期	円筒上層a	
24	縄文土器	深鉢	口縁	T-9(東舷)	最下層	縄文中期	円筒上層d	
25	縄文土器	深鉢	口縁	T-9(東舷)	最下層	縄文中期	円筒上層e	
26	縄文土器	深鉢	口縁	T-9	V1～V2層	縄文中期	円筒上層d～e	
27	縄文土器	深鉢	口縁	T-9	褐色層	縄文中期	円筒上層e	
28	縄文土器	深鉢	口縁	T-9	褐色層	縄文中期	円筒上層e	
29	縄文土器	深鉢	口縁	T-9(西舷)	褐色層	縄文中期	横林	
30	縄文土器	深鉢	口縁	T-9(西舷)	褐色層	縄文中期	横林	
31	縄文土器	深鉢	口縁	T-9(西舷)	褐色層	縄文中期	横林	
32	縄文土器	深鉢	口縁	T-9(西舷)	褐色層	縄文中期	麻花	
33	縄文土器	深鉢	口縁	T-9(西舷)	褐色層	縄文中期末葉		
34	縄文土器	深鉢	口縁～底部	T-11(西舷)	西場面褐色層	縄文前期	円筒下層a～b	
35	縄文土器	深鉢	口縁	T-11(西舷)	褐色層	縄文晚期	大洞B	
36	縄文土器	鉢	口縁	T-13	褐色砂層(西半)	縄文晚期	大洞B	
37	縄文土器	深鉢	口縁	T-14-L3号	下層	縄文前期	円筒下層d1	
38	縄文土器	深鉢	口縁	T-14-L3号	下層	縄文前期	円筒下層d1	
39	縄文土器	深鉢	口縁	T-14-L4号	1層	縄文前期	円筒下層b	
40	縄文土器	深鉢	底部	T-14-L5号	1層	縄文前期	円筒下層d1	
41	縄文土器	深鉢	口縁	T-14-L6号	下層	縄文前期	円筒下層d1	
42	縄文土器	深鉢	口縁	T-14-L6号	下層	縄文前期	円筒下層d1	

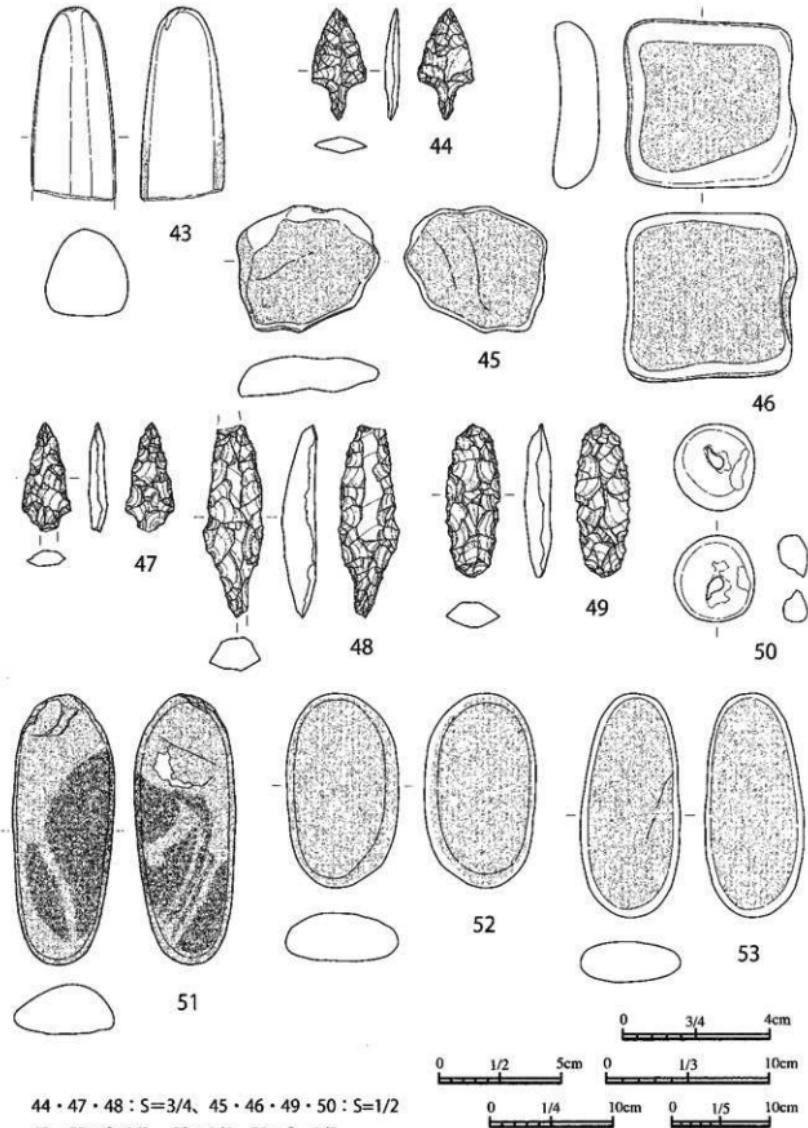


図28 史跡西半の調査出土石器（1）

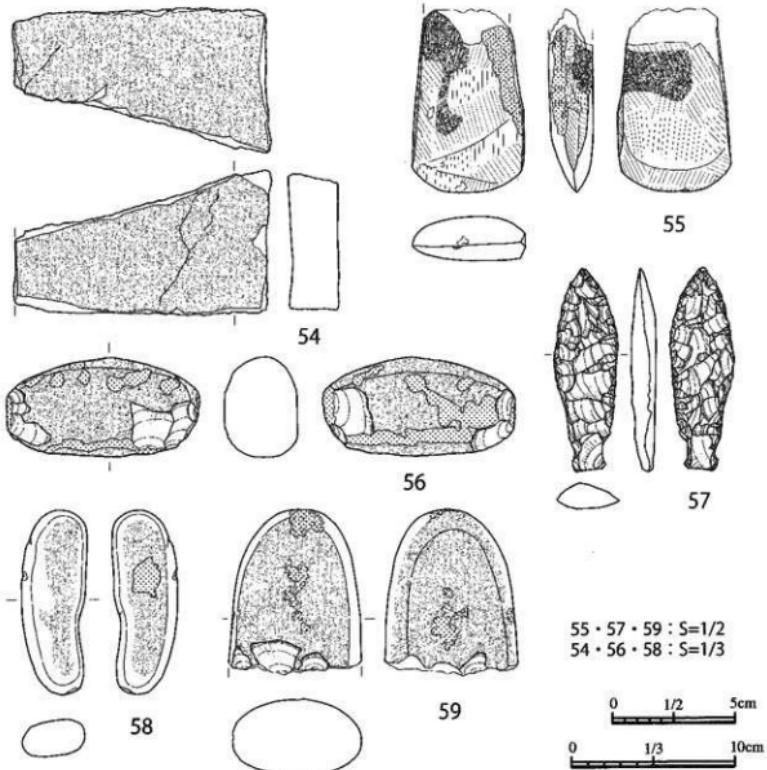


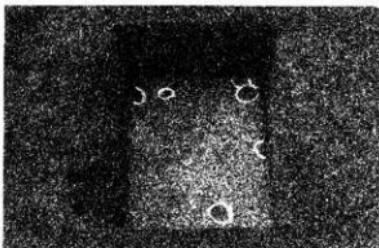
図29 史跡西半の調査出土石器（2）

表12 史跡西半の調査出土石器観察表

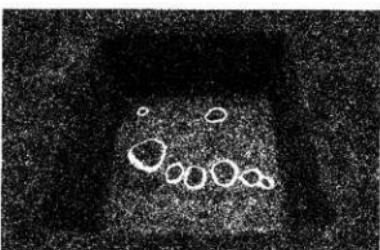
番号	種別	器形	部位・形状	出土位置	出土層位	年代	型式・石材	備考
43	石製品	不明石製品	三角形	T-2トレ	褐色層	縄文	凝灰岩	
44	石器	石鎚	—	T-5トレ	褐色砂層	縄文	珪質頁岩	
45	石製品	不明石製品	—	T-5トレ	褐色層	縄文	石英質流紋岩	
46	石器	磨石	—	T-5トレ	褐色層	縄文	珪化木	
47	石器	石鎚	—	T-8トレ	—	縄文	珪質頁岩	
48	石器	石鎚	—	T-8トレ(北括)	最下層	縄文	珪質頁岩	
49	石器	石鎚	—	T-8トレ(東括)	明褐色層(下層)	縄文	珪質頁岩	
50	石製品	有孔石製品	—	T-8トレ(東括)	暗褐色層	縄文	珪質凝灰岩	
51	石器	磨・敲石	—	T-8トレ(括強)	褐色層内焼土ローム層	縄文	安山岩	付着物あり
52	石器	磨石	—	T-8トレ	—	縄文	安山岩	
53	石器	磨石	—	T-8トレ(東括)	ローム混層	縄文	安山岩	
54	石器	台石	—	T-9トレ(西括)	褐色層	縄文	安山岩	
55	石器	磨・敲石斧	—	T-11トレ	褐色層	縄文	緑色片岩	被熱
56	石器	磨・敲石	—	T-11トレ(西括)	褐色層	縄文	花崗岩	
57	石器	石鎚	—	T-14トレ7号	1層	縄文	珪質頁岩	
58	石器	磨・敲石	—	T-14トレ12号	1層	縄文	安山岩	
59	石器	磨・敲石	—	T-14トレ13号	1層	縄文	安山岩	



史跡西半調査地（東から）



T-1 トレンチ（北から）



T-2 トレンチ（北から）



T-3 トレンチ（北から）



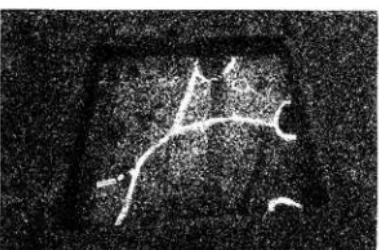
T-4 トレンチ（北から）



T-5 トレンチ（南から）



T-6 トレンチ（西から）

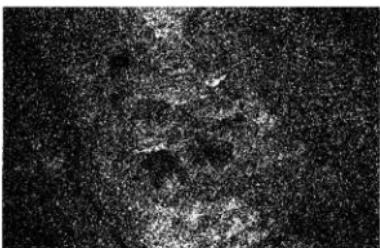


T-7 トレンチ（南から）

写真8 史跡西半の調査状況①



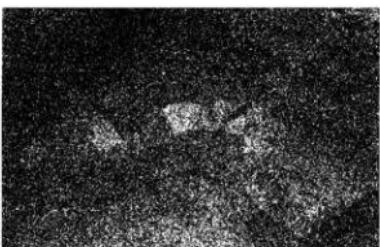
T-8 トレンチ（東から）



T-8 トレンチ土器出土状況（南東から）



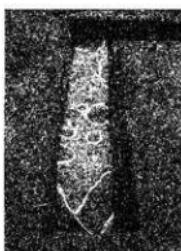
T-9 トレンチ
(西から)



T-9 トレンチ縄文中期土器出土状況（北東から）



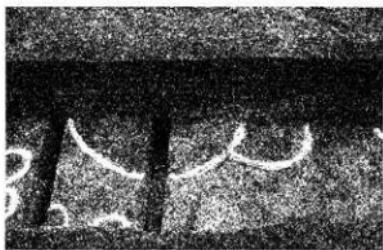
T-10 トレンチ（西から）



T-11 トレンチ（北から）



T-11 トレンチ西坑道区（西から）



T-11 トレンチ2・19号検出状況（北から）



T-11 トレンチ焼土検出状況（南から）

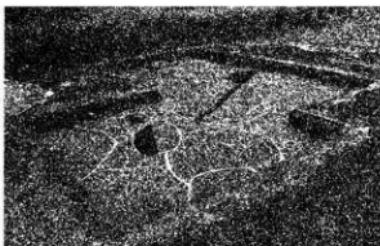
写真9 史跡西半の調査状況②



T-12トレンチ
(東から)



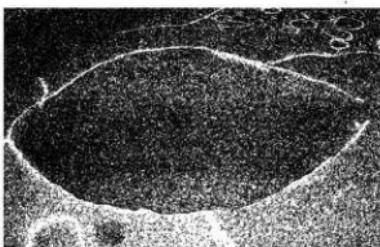
T-13トレンチ(東から)



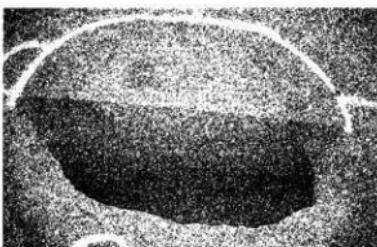
T-14トレンチ(南東から)



T-14トレンチ(西から)



T-14トレンチ3号土層断面(南西から)



T-14トレンチ6号土層断面(南西から)



T-14トレンチ5号土器出土状況(南東から)



T-14トレンチ7号石器出土状況(南から)

写真10 史跡西半の調査状況③

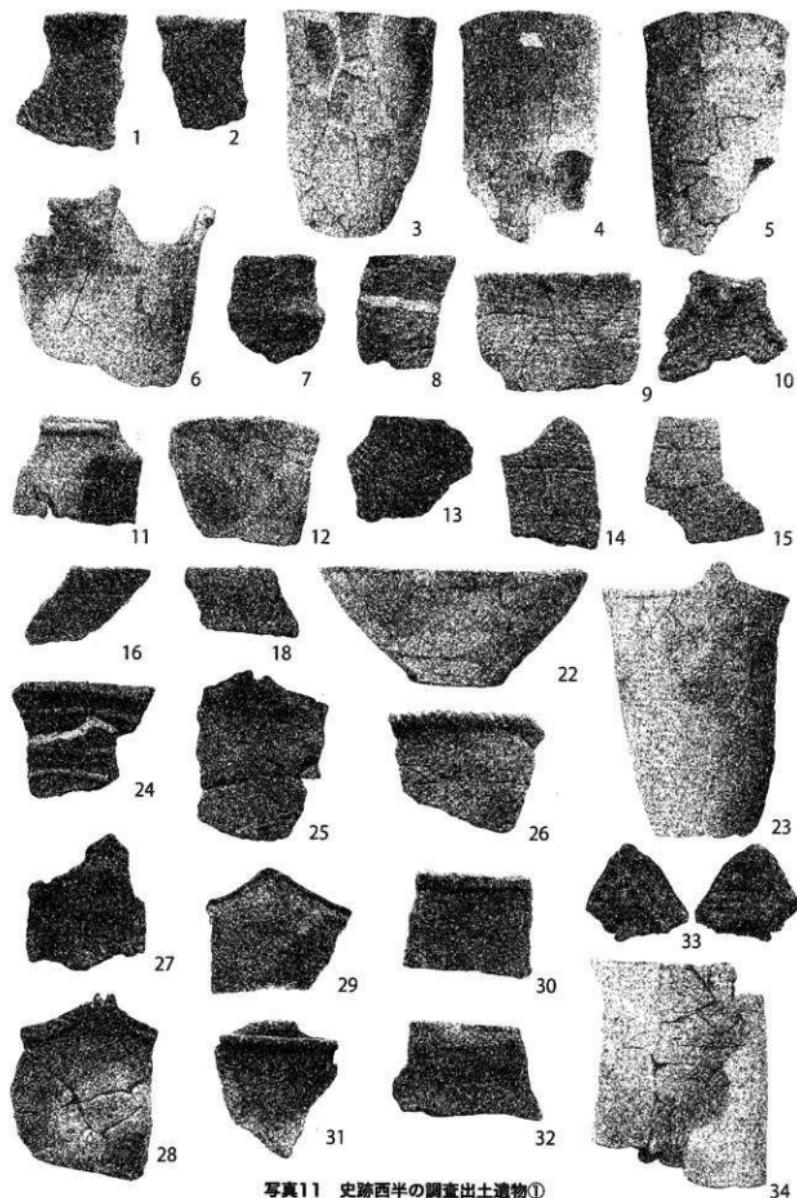


写真11 史跡西半の調査出土遺物①

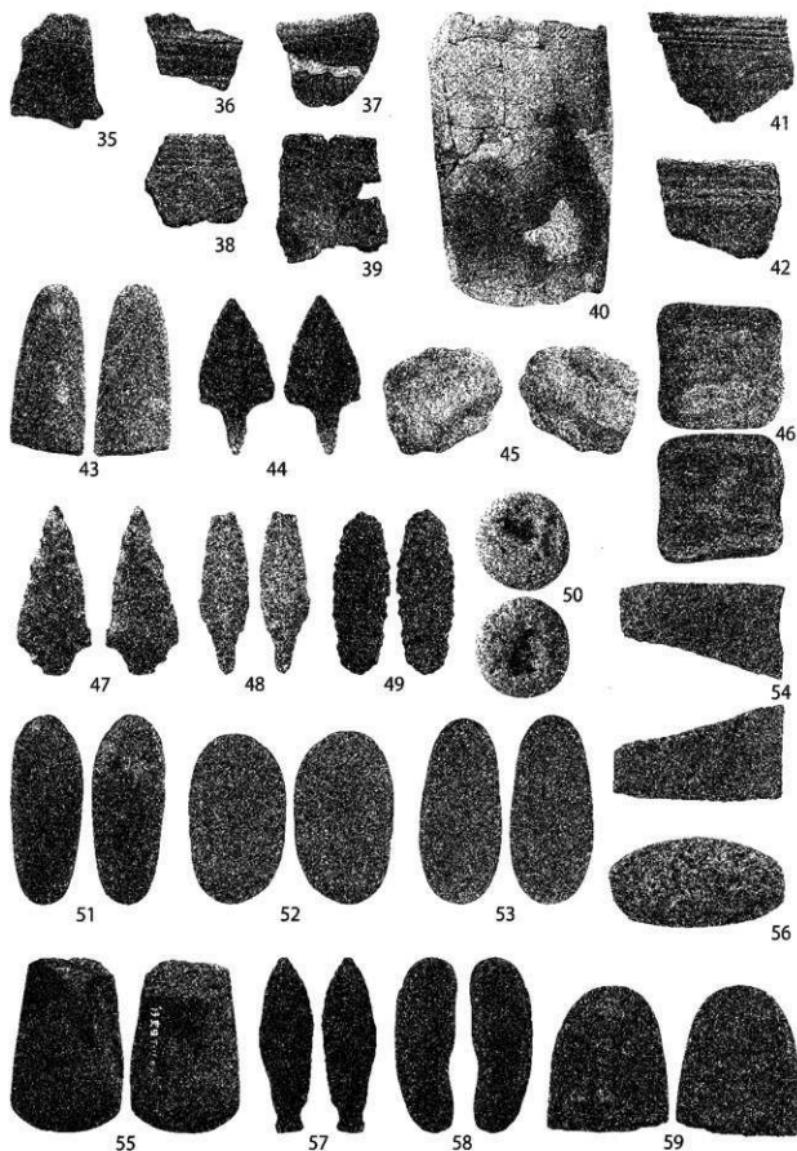


写真12 史跡西半の調査出土遺物②